



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員長 脇本 敏雄
- 大垣共立銀行 高山支店 4F



「湖畔雪景色」 脚手 康介

<会長の時間>

ピンチはチャンス

昭和 51 年 8 月、私が 38 歳の時、勤務医師から独立開業を決心してほぼ一年経ちましたが担保なし、資金なしなのでめどがたちません。ほぼ諦めかけていましたが、翌年の 6 月になってある設計士から、会社が移転した後の 3 階建てビルの借り手を探しているという情報が入りました。



ビルの一階は倉庫だったのでガランドウです。2 階 3 階は事務室。駐車場は約 15 台分ほどあります。3 階を住居にして 1 階を医院に改築すればどんぴしゃりです。さっそく設計上に頼んでビルのオーナー社長に面会のアポイントを取りました。家賃と敷金を提示され、それで良ければいつからでもお貸ししましょうと単刀直入にお話ししてくださいました。一代で会社を築き上げた方の言われることだからリーズナブルな家賃だろうと思ってそのままの条件で賃してもらうことに決定しました。設計上によると改築費は約 2000 万円で大丈夫だということです。幸いなことに今回は妻の知りあいが 2 人保証人になってくださったのですんなり融資を受けることができました。

8 月から着工して 11 月に完成。11 月 9 日に開院することができました。オープン後、日に日に患者さんが増えました。事業計画では 6 か月は赤字だったのですが 12 月から黒字になりました。翌年の 1 月 2 月も順調に患者さんは増えていきました。2 月になって、時々物がふたつにみえることかあるので眼鏡が合わないのかもしれないと思っていましたが、ある朝鏡を見ると右目がわずかに飛び出しているのに気がきました。痛みはないし熱はないので、これは腫瘍によるものだろうと判断して愛知県がんセンターに予約を取り受診しました。検査の結果、右上顎洞腫瘍の診断で手術が必要ということになりました。私の入院中の診療を、同級生と知り合いの医師に頼んでがんセンターに入院しました。

私の手術は 3000cc の輸血が必要でしたが経過良好で、1 か月で退院でき 4 月から復帰できました。少し減っていた患者さんも順調に回復していましたが、5 月の連休明け異様に体がだるいので血液検査をしたところ、GOT、GPT が 2000 位に上昇していました。輸血による急性肝炎なのでまた入院が必要です。私が入院すれば医院の収入はゼロです。家賃、銀行への返済、6 人の従業員の給料、もちろん家族の生活費も必要です。私は座っているのが困難なほど体がだるかったのですが、今後の方針を決めないといけません。絶体絶命のピンチです。この時はまだわからなかったのですがこの先 15 年間、肝臓の病気で苦しい思いをするわけですからどこにもチャンスの気配は見えない状況だったわけです。～続きは次回例会にて～

<幹事報告>

◎ガバナー・ガバナーエレクトより

・国際ロータリー第 2630 地区
2013 年地区協議会開催のご通知
日 時 4 月 21 日(日)
点鐘 12:00 終了 17:00
会 場 桑名市民会館



出席義務者 会長、幹事、会計、雑誌情報委員長、会員増強委員長、職業奉仕委員長、社会奉仕委員長、環境保全委員長、国際奉仕委員長、青少年育成委員長、インター外委員長、ローリー財団委員長、米山奨学委員長、(H24.1.1 以降入会で、これまで地区協議会参加経験のない) 新会員

◎米山梅吉記念館より

・春季例祭のご案内
日 時 4 月 27 日(土) 14:00~
場 所 米山梅吉記念館ホール

◎ぎふ清流国体高山市実行委員会より

・ぎふ清流国体高山市実行委員会第 5 回総会資料および高山市開催協議会報告書

◎飛騨高山国際協会より

・平成 25 年度飛騨高山国際協会実務者連絡会議の開催について
日 時 4 月 10 日(水) 13:30~14:30
場 所 高山市役所 4 階中会議室
議 題 ・平成 24 年度事業報告、決算報告
平成 25 年度事業計画(案)、予算(案)
役員改選について

◎高山市民憲章推進協議会より

・高山市民憲章実践及び推進者表章の被表章者推薦について(お願)
提出期限 4 月 19 日(金)
提出先 高山市民憲章推進協議会事務局

<例会変更>

可茂 … 4 月 3 日(水)は、ホテルを守る会との協働作業のため、3 月 10 日(日)、坂祝町迫間川周辺 に変更
4 月 10 日(水)は、加茂東 RC と合同花見例会のため
4 月 11 日(木) 18:30~、川辺町 かつや に変更
5 月 1 日(水)は、定款第 6 条第 1 節により、休会

<受贈誌>

米山梅吉記念館(館報 21 号)

例会報告

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	43名	9名	52名	52名	100.00%
本日	34名	—	34名	52名	65.38%

<本日のプログラム> 社会奉仕委員会

社会奉仕委副委員長

田中 正躬

今日は、社会奉仕・ヘルス委員会担当例会という事ですが、堺委員長が欠席ですので代わって副委員長をさせて頂いている田中正躬ですがよろしくお願ひ致します。

本日のゲストを紹介します。御招きいたしました方は、道添健太郎様です。1973年5月19日に御生まれの39歳、まもなく40歳になられます。介護福祉士で2003年、NPO法人さんしょうの会 きららハウス 開所から施設長として勤務され現在に至っています。きららハウスは、障害者の福祉施設ですが、パンの製造販売などを手がけておられます。今日はこの例会でパンを昼食にと言う事は無かったかと思いますが、パンの昼食を準備させていただきました。いかがでしたでしょうか。障害者支援と言う事で多々ご苦労がお有かと思いますが、そのあたりのお話を聞かせて頂けると思います。例会終了後はわずかですが、販売用のパンを準備いただきました。御帰りの節は是非お買い求めいただきます様お願ひ致します。尚、この企画に当たりましては田近毅さんに御力添えを戴きました。それでは、道添健太郎様よろしくお願ひします。



NPO法人さんしょうの会 きららハウス施設長 道添 健太郎 様

こんにちは、NPO法人さんしょうの会きららハウスの道添と申します。本日はこのような貴重な機会を与えてくださり、誠にありがとうございます。これからきららハウスの紹介や、今日一緒にパンを作り、販売に参加してくれている仲間遠の日頃の思い等を聴いて頂けたらと思います。よろしくお願ひします。

きららハウスが開所してから、丁度10年が経ちました。数十年前、今は飛騨特別支援学校という名前になりましたが、当時の養護学校に通っていた生徒さんとその御家族、そして有志の先生方、その他の支援者が集まって余暇活動や学習会などを行う「NPO法人さんしょうの会」の前身の団体が立ち上げられました。そして10年前に、「自分たちの子どもが学校を卒業した後、地域の中で心豊かに、人間らしく働ける作業所を作りたい」という願いから、寄付金やバザー等で焼きそばを販売したりして作った資金を元に、無認可の小規模作業所としてきららハウスを立ち上げました。

現在は立ち上げた当初の障がい福祉に関する法律も変わり、「障がい者自立支援法」という法律の下で障がい福祉サービス事業所として三福寺町にあります。

当初は5人の仲間と、2人の職員でのスタートでした。実は私は今の仕事を引き受けるまで、福祉といったものに殆ど関わった事が無く、「作業所」とは何であるのかということすら知らずにこの世界に飛び込んでしまったんです。もう一人の職員は社会福祉士と介護福祉士の資格を持った人で、ずいぶんと迷惑を掛けました。

開所してしばらくは、ストラップ等の小物を作ってバザーが開かれるという情報を聞きつけてはそこに足を運び、販売するといったことをしていましたが、ひと月の作業収入が100円しかなく、運営費を切り崩して仲間に3,000円程の工賃を支払うといった状況が続きました。やがて、きららハウスのことを知って下さっていた飛騨産業さんが花瓶等を置く為の台を作る作業を分けて下さったり、みさき園芸さんが菊の苗付け作業を分けて下さったり、靴下工場から廃棄のゴム紐を大量に送ってもらって手編みの座布団を編んでバザーで販売できるようになり、少しずつ仲間の工賃を増やしていけるようになりました。また3月から12月の間は毎週月曜日に市の図書館「かんしょうかん」の外回りの清掃業務に取り組んでいます。清掃中、地域の方々から声を掛けてもらえるので、とても励みになります。さらに生協ステーションにも取り組んでいます。届いた商品を仕分けする仕事ですが、生協ステーションを始めたおかげで、地域の方に気軽にきららハウスを覗いて頂ける機会が増えました。図書館清掃と生協ステーションの報酬は、仲間の夏と冬のボーナスという形で分配しています。

そして仲間へ支払う工賃を飛躍的にアップさせることができた転機が訪れました。助成金を利用して設備を整え、パンの製造販売に取り組んだのです。午前中に製造し、午後から訪問販売の形で車で仲間と出かけるのです。最初は3種類程のパンしか作れなかったのですが、仲間のアイデア等を活かしながら徐々に種類も増やし、今では10種類近くのパンを製造販売しています。販売先もいろんな人に紹介していただいたり、飛び込み販売したり等して、40件以上のお得意様が出来ました。最初ただの小麦粉だったものがパンになり、お金に換わる。仲間が元気に挨拶しながら、販売先を訪ね、自分たちが作ったパンを「本当においしいよ」と喜んで買って頂ける。こうした営みを通じ、社会と繋がる事で、仲間は自分の役割を意識し、自信が生まれ、活き活きと地域の中で生きることができているのだと思います。

奉仕を通じて平和を

例会報告

毎月の仲間の給料日にはバローで買い物を楽しんだり、ホテルのレストランで食事を楽しんだりしています。また高山市社会福祉協議会さんが企画して下さる釣り大会や、りんご狩り、もちつき大会等に参加したり、昨年は日産労連さんから劇団四季のミュージカルの観劇に招待して頂き、皆で観に行くことも出来ました。

今きららハウスは仲間の数が25人にも増えました。職員も7人になりました。様々な生き辛さを抱えた仲間が、自分の居場所を求めて集まり、自分の長所を活かしながら、弱さを支えあいながらアットホームな雰囲気を大切にして、日々活動しています。また昨年11月には匠ヶ丘に細江工務店さんなどの協力を得て、ゆめ匠パン工房もオープンしました。こちらのパンは匠ヶ丘で店頭販売しておりますので、またぜひお立ち寄りください。

これからも仲間一人一人の思いを大切にしながら、地域の皆さんと繋がっていかれたらと願っています。ありがとうございます。



<ニコニコボックス>

●高山中央RC 都竹 太志 様

RCに入会して3年目ですが、本日初めてのメイクアップとなります。他のRCの雰囲気を楽しませていただければと存じます。よろしくお願ひいたします。

●折茂 謙一さん

①本日のゲストNPO法人さんしょうの会 きららハウス施設長 道添健太郎様ならびにきららハウスの皆様よろしくお願ひします。

②本日のビジター、高山中央RCの都竹太志様ようこそ。

●米澤 久二さん

①道添さんはじめ「きららハウス」の皆様、本日はよろしくお願ひします。菊苗で私の兄も大変お世話になりありがとうございます。

②高山中央RCの都竹さん、ようこそいらっしゃいました。

●堺 和信さん、田中 正躬さん

今日は社会奉仕・ヘルス委員会の担当という事でNPO法人さんしょうの会 きららハウス 道添健太郎様にご来訪いただきました。道添様には大変お忙しい所お越しいただきありがとうございます。本日はよろしくお願ひします。

●田近 毅さん

きららハウス管理者 道添健太郎さんと皆様のご来訪を歓迎いたします。お話し楽しみにしています。会員の皆さん、卓話終了後美味しいパンを販売いたしますので、沢山お買い求めください。『みんなの為になるか』

●井上 正さん

3月10日の高山西ロータリークラブ杯争奪ソフトミニバレーボール大会に参加させていただきました。多くの先輩方に見守られながら、参加する事に意義があるとしかいう事の出来ない結果でしたが、チームはぐるまの輝かしい未来の可能性を感じましたので、昨日夜30分でしたが練習に参加して参りました。これからも練習出来る時には行って鬼コーチの指導を受けたいと思います。

●挟土 貞吉さん、田中 武さん

3月10日、西ロータリー杯ソフトミニバレー大会がビックアリーナにて盛大に行われました。昨年よりチーム数が増えているそうです。我ロータリークラブでは2チームを1チームに絞りに絞り、厳重に審査の上精鋭を揃え、門前監督兼キャプテン、堺さん、大村さん、塚本さん、井上さんの5人を出しました。全ての試合が負けはしたものの僅差で手に汗握る凄く試合展開でした。心に残る試合をしてくれました。次回は必ず勝てると思います。会員の皆様、その時は必ず応援に来て下さい、と言っていました。選手の皆さんご苦労様でした。

●下屋 勝比古さん

高校卒業式で祝辞を述べさせていただきました。かまずにうまく出来ました。先週も欠席させていただき受験について行きました。お陰様で志望校に合格しました。これからも仕送り頑張ります。

●堀川 和士さん

おととい名古屋へ日帰りしました。以前ジャラジャラと付けていた18金の太いネックレスや指輪、ペンダントなど、ずっしり重い程処分して来ました。良心的な業者に巡り合えて、高山での数件の業者より2倍近い価格で買い取ってもらえてニコニコでした。金製品の処分でお困りの方は、何時でも紹介しますヨ。

●東 庄豪さん

会社の事業の夢の実現の為に、花の都へ行って参ります。しばらく休会させていただきますが、行事には参加させていただきますのでよろしくお願ひします。高山西ロータリークラブの一員であることに誇りを持って行って来ます。

●挟土 貞吉さん

先日の中日新聞飛騨版に女房と我が家の宝杯 八幡神社の水鉢の記事が出ていましたので。



会員にて集めたタオルを寄贈しました